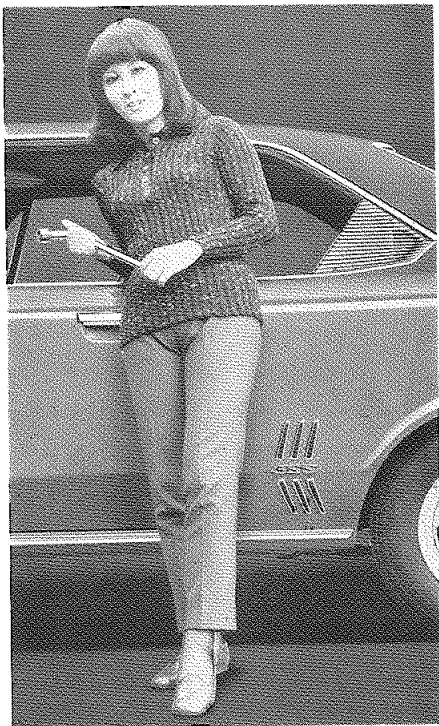


プを外さないかぎり冷却水は沸騰いたしません。このようなときには次のような運転をしてください。

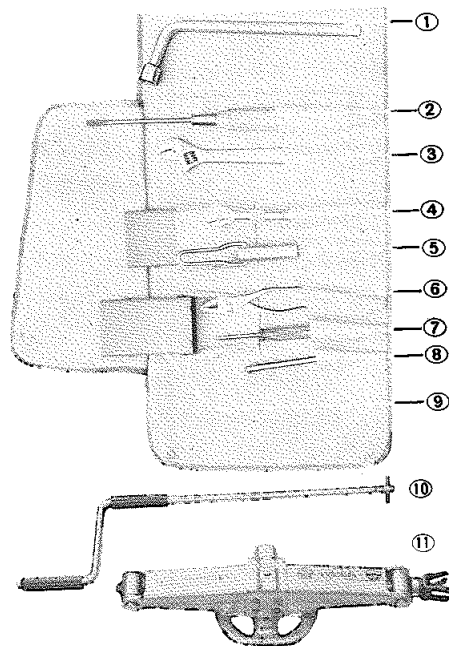
- (1) 交差点など減速するときは、フット・ブレーキをなるべく使わないで、エンジン・ブレーキを多用してください。
- (2) 特に長い坂道を登るときは、エンジンの低い回転数のところで無理をしないでミッションのギヤを一段おとし、エンジンの回転を上げて登るようにしてください。
- (3) 交差点などで停止したときは、アクセル・ペダルを軽く踏んで、エンジンの回転を 1500 回転位に高目にして、待機してください。冷却効果が大きくなります。

セルフ・サービスのしかた

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP GSS



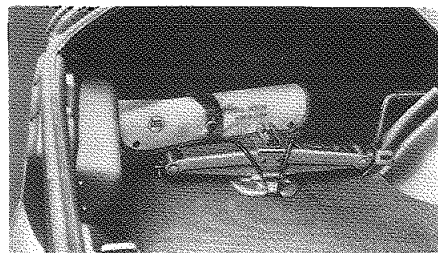
工具とジャッキ



無断複製禁止

- ① ハブ・ナット・レンチ
- ② ⊖ドライバー
- ③ モンキー・レンチ
- ④ 組スパナ (8×10) (10×12)
(14×17)
- ⑤ スパーク・プラグ・レンチ
- ⑥ プライヤー
- ⑦ ⊕⊖ドライバー
- ⑧ タイヤ・プレッシャー・ゲージ
- ⑨ 輪止め
- ⑩ ジャッキ・ハンドル
- ⑪ ジャッキ<パンタグラフ式>

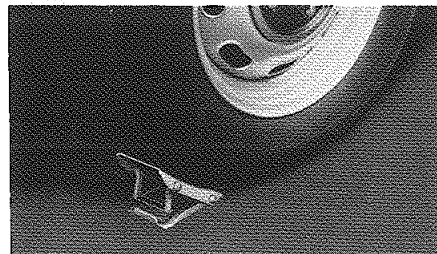
■格納位置



工具とジャッキは、トランク・ルーム内に格納されております。

パンクの処置

①準備



- ① まず、同乗者や重い荷物などをおろし、車を水平な場所におきます。
- ② 工具、ジャッキなどを取り出し、輪止めを確実にします。

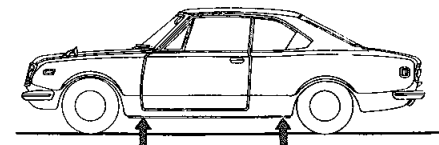
②スペア・タイヤ



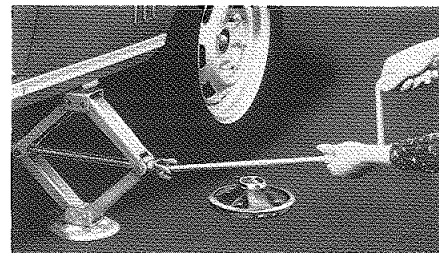
スペア・タイヤ・クランプを左側にまわして、取りはずします。

ジャッキがはずれた場合の危険防止のため、スペア・タイヤをパンクした車輪のボデーの下においてください。

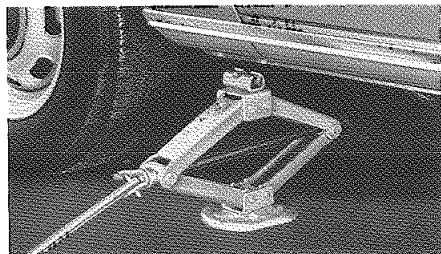
③ジャッキをセットする



交換する車輪に近いサイド・レールに、ジャッキの受けをはめます。

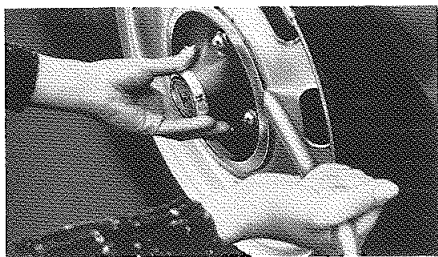


フロント側……フロント・フェンダー取付けボルト横のサイド・レールにかけます。



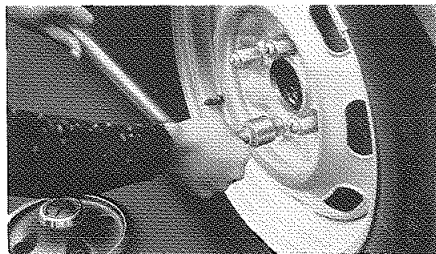
リヤ側……サイド・レールの切りかき部にジャッキをかけます。

④ホイール・キャップをはずす



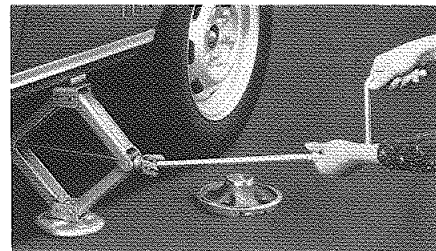
ドライバーまたは、ハブ・ナット・レンチのものがった方で、はずします。

⑤ハブ・ナットをゆるめる



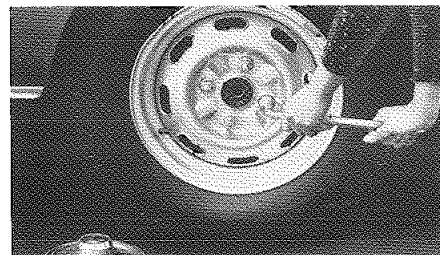
ハブ・ナット・レンチで4個とも半回転位ゆるめます。〈ナットをはずすと危険〉

⑥ボデーをもちあげる



タイヤと地面が2cmくらいあくまで、静かにジャッキ・ハンドルをまわす。
〈ボデーの下に入るのは危険〉

⑦車輪をとりかえる



ナットをはずし、車輪を少しあげるようにしながらはずします。

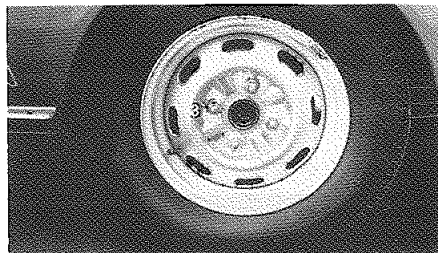
スペア・タイヤをボデーの下から取り、その位置にはずした車輪をおきます。

〈ジャッキがはずれたときの危険防止〉
スペア・タイヤをはめ、ナットの平面の方を外側にして車輪にあたるまで締付けます。

ナットを座に落着かせるためにゆっくり車輪をまわしながら、ナットを締付けます。

⑧ボデーをおろす

⑨ ナットを締付ける



写真の順序に、ハブ・ナット・レンチでしっかりと締付けます。

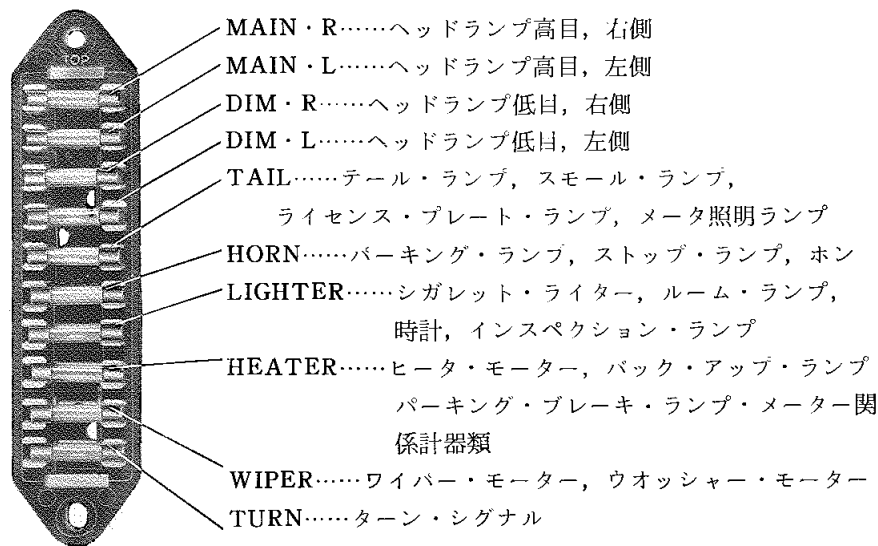
⑩ ホイール・キャップをはめる

ハブナットに、キャップの穴を合わせキャップをたたいてはめます。

⑪ タイヤの空気圧を正規にする

⑫ 車輪と工具をかたずける

ヒューズ・ランプ類の交換



■各ヒューズの受持回路

各ヒューズを通る回路は、左図の通りです。

ヒューズ切れを確認する場合、そのヒューズの受け持っている電気関係全部が作動しないときはヒューズ切れ、一つだけ作動しないときは、ヒューズ切れではなく正常です。

■ヒューズの交換

ヒューズ・ボックス・カバーの両はじを指でおさえカバーを外します。カバー表面にはヒューズ容量と主回路名が明記してありますので、スペア・ヒューズの中から不良ヒューズと同一のものを選び交換してください。

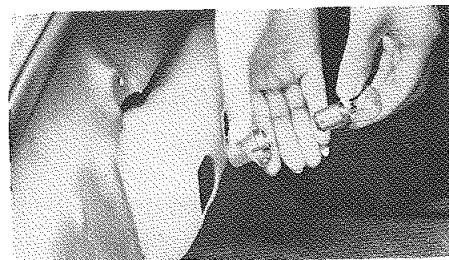
万一何度もヒューズが切れる場合には、絶対に大容量のヒューズ、針金、銀紙等は使用しないで、サービス工場に連絡してください。

■ランプ類の交換

ストップ・ランプ……ブレーキ・ペダルを踏んで、ランプが両方ともつかないときはホーンを鳴らしてみます。ホーンがならないときはヒューズを調べます。

ホーンが鳴るとき、またはストップ・ランプがつかっぱなしのときは、サービス工場に連絡してください。

片方つかないときは電球を取りかえてください。



トランク・リッドをあけて、ランプ・ソケットを左にまわして、はずしたのち電球を少し押さえながら左にまわして、はずします。

電球は 12V—23/8W のダブル・フィラ

メントです。

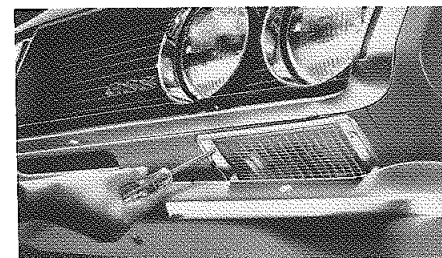
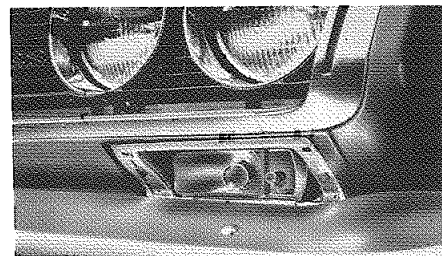
23W……ストップ・ランプ

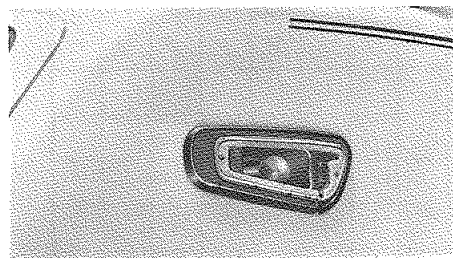
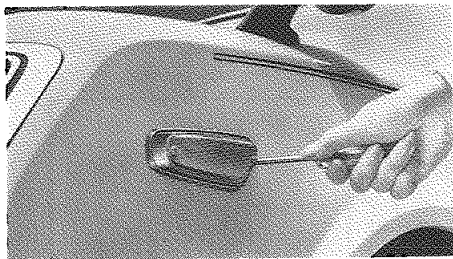
ターン・シグナル・ランプ

ハザード・ウォーニング・ランプ

8W……テール・ランプ

ターン・シグナル・ランプ





エンジン・スイッチをONにして調べます。左右どちらか一方の、ターン・シグナル・インジケータ・ランプがつかばなしのときは、前後どちらかの電球が接触不良か切れています。リヤが切れている場合にはストップ・ランプの交換と同様に行なってください。フロントの場合は⊕ドライバーでビスを

抜いてレンズをはずします。

電球は少し押しながら左にまわしてははずします。

電球は 12V—23/8W のダブル・フィラメントです。

23W……ターン・シグナル・ランプ

8W……スモール・ランプ

点滅がどちらかつきばなしの時は、つきばなしの方のサイド・ターン・シグナル・ランプが接触不良か切れています。

⊕ドライバーでビスを抜き、レンズをはずします。電球を少し押しながら左にまわしてははずします。

電球は 12V—8W です。

バック・アップ・ランプ……

エンジン・スイッチONでRにシフトしたとき、両方ともつかない場合は、パーキング・インジケータ・ランプおよびコンビネーション・メータのゲージ作動しているか調べます。点灯しないときはヒューズを調べます。点灯するときはサ

ービス工場で点検を受けてください。片方つかないときは、ランプが接触不良か切れています。



ソケットを左にまわしてははずします。

電球は 12V—23W です。

ヘッド・ランプ……

ヘッド・ランプのヒューズは、左右、ハイ・ビーム、ロー・ビームが各々独立していますので、走行中ヒューズが切れても反対側のヘッドランプは消えませんが安全です。

ヘッド・ランプがどれかつかないときはヒューズを調べます。

ヒューズに異状がないときはサービス工場で点検を受けてください。

テール・ランプ、スモール・ランプ

テール・ランプ、スモール・ランプ、ライセンス・プレート・ランプが全部つかないときはヒューズを調べます。

どれかつかないときはランプが接触不良か切れています。

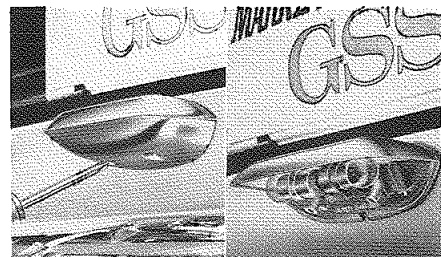
A. テール・ランプ

ストップ・ランプと同様に行ないます。

B. スモール・ランプ

フロント・ターン・シグナル・ランプと同様に行ないます。

ライセンス・プレート・ランプ



⊕ドライバーでビスをはずし、レンズをはずして、電球を交換してください。電球は 12V—8W です。

パーキング・ランプ

スイッチを全灯の位置<右へ2段まわした位置>にして前後左右のパーキング・ランプが点灯しているかどうか調べ4個とも点灯しない場合はヒューズを調べてください。それ以外はバルブを点検し不良の場合は交換してください。

前側のランプ交換は、レンズを取りはずしてランプを押しながら左にまわすと容易にはずれます。

後側は、トランク内からホルダを左へまわしてはずした後、ランプを引き抜いてください。

<注意>

後側ランプを取りはずす際、けっしてまわさないようご注意ください。

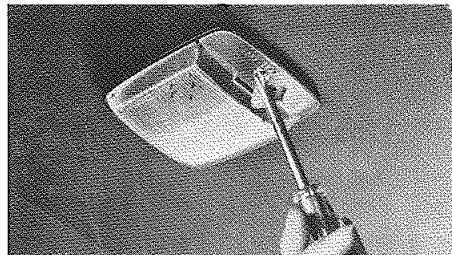
ハザード・ウォーニング・ランプ

ハザード・ウォーニング・ランプの前側も後側も左右のターン・シグナル・ランプと共同になっております。

スイッチを引いても点滅しない個所がありましたらターン・シグナル・ランプと

同様に行なってください。

ルーム・ランプ



⊕ドライバーでビスをはずし、レンズをはずします。電球は、引つ張ればはずれます。

電球は 12V—10W です。

<注意>

ランプ類が正常に作用しないまま運転することは、事故のもとになり、法令にも反しますので、早く修理しましょう。

① ダブル・フィラメントの電球は、方向性があります。電球のボッチの位置にご確認ください。

② レンズ取り付けの際、ゴムのバックキック位置に注意し、レンズは平均に締め

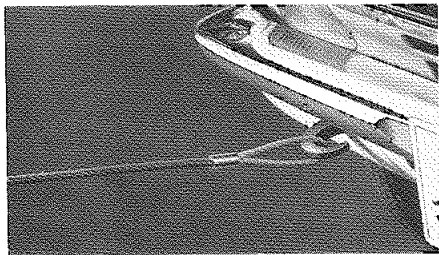
付けます。必要以上に締め過ぎると、レンズが破損することがありますので、ご注意ください。

③ 電球は接触が悪くて点灯しないことがあります。一度当たり面をみがいて付け直してみてください。

駄目なときは交換してください。

■けん引の方法

1. けん引ロープをかける位置



フロントにロープをかけるときは、写真のように、けん引フックにかけてください。部品はオプションであります。

リヤ側にロープをかけるときは、リーフ・スプリングの後端にかけてください。

《注意》

車をけん引するときは、全長が 25m を越えてはいけません。また、ロープが短かすぎると、けん引車に追突する恐れがありますので、ロープは 5m 前後とし、ロープの中ほどには白旗をむすびます。けん引される車は、常にロープがたるまないように気をつけます。

けん引フック以外にはかけないでください。